



学校だよりの かけ橋

横須賀市立汐入小学校 校長室



学校が始まりました

8月30日（火）夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。横須賀市の公立学校は、2学期制ということで、以前のように、9月1日からではなく、2日早く始まります。その分、10月の中旬に秋休みが2日間設けられています。

子どもたちに聞いて見ると、
「鹿児島のおばあちゃんの家に行ったよ。」
「お台場で、有名人に会ってきたんだ。」
「防災大学で、ガラスが割れた時に、どうやって避難すればいいか教えてもらったよ。」
「こども会で、映画を見に行ってきたんだ。おもしろかった。」
等々、夏休みしかできない体験をしてきたことがよく分かりました。



30日の朝会で、「やっと学校が始まった。」と思うか、「もう学校が始まった。」と思うか子どもたちに聞いてみました。結果は、低学年ほど前者が多く、高学年ほど後者に手を挙げる子が多かったようです。しかし、どちらの気持ちもあるというのが、子どもの本音ではないでしょうか。あるお母さんの言葉で、「先生、やっと学校が始まってくれました。」これも、実感としてよくわかります。

夏休みの作品から

さて、学校の廊下には、夏休みの作品が掲示されています。先日の懇談会で学校にいらした際、ご覧になった方も多いと思います。

低学年の絵日記は、どの子も夏の楽しい思い出が表現されていて、ほほえましく感じました。その中の一つをご紹介します。

「ひがきえないように」（1年女子） 右のような絵日記です。→
「8月13日、迎え盆をしました。お墓参りをして、提灯に火をつけ、家まで消さずに帰れてうれしかったです。」（原文はひらがな）



先祖を思う気持ちは、親から子へ、子から孫へと伝えられて行きます。この絵日記を見ると、お家の人が伝えたかった大切なことが、しっかりと子どもに伝わっていることがよく分かります。

高学年になると、「紫外線の強さ調べ」のような理科的なもの、「神奈川県のこと」といった社会的なもの、「おいしい卵焼きをつくろう」といった家庭的なもの、家族旅行のことを写真とパンフレットで振り返る旅行記のようにまとめたものなど、子どもはもちろん保護者の方も一緒に取り組んでくれたことがよくわかります。今年のいろいろな作品を見て、「来年はこんなふうに見よう」「あのまとめ方がよかったな」など、来年に向けての気持ちを作ることも大切です。

特に、高学年は、宿題のための宿題ではなく、親子で楽しみながらやっていると感じさせられる作品があり、感心しました。

夏休み明けで、変わったところがいくつかあります。ご紹介します。

① 一部教室の照明増設

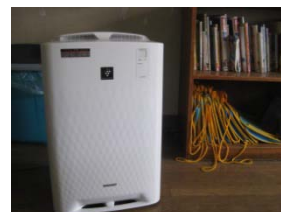
耐震工事の際に、照明を増設しなかった教室を工事しました。今までぶら下げ式の電灯だった物を天井直づけに変えました。「とても明るくなった」と先生方には、好評です。

② 廊下の照明増設

給食室前の廊下には、掲示板があります。しかし、外の明かりが取れずに暗かったので、今回、照明を1つ多くつけてもらいました。天気の悪い日や夕方でも掲示板が見やすくなりました。

③ イオン発生器を組み込んだ空気清浄機の全クラス配置

もっと短い言い方があるのですが、商品名のため使用を控えたら、とても回りくどい表現になってしまいました。昨年度、PTAのベルマークで購入していただき、6年生の教室に1台設置してあったものです。子どもの健康に少しでもいいことなら、早めに対応しようということで、全クラス設置しました。



④ 普通教室のクーラー設置のための電源工事

クーラーの工事が入ったということで、「夏休み明けからクーラーが・・・」など期待していた子どももいたらしいのですが、今回は、電源工事だけで、クーラーの本体は、今年度中に設置される予定です。(震災の影響で、本体がいつ入るか未定)実際にクーラーの恩恵が受けられるのは、来年度になりそうです。

⑤ 玄関の写真掲示

夏休み中に行われた坂本中学校の部活見学の写真が掲示されています。これから、このコーナーには、汐入の子どもたちの活動の様子を写真で紹介したいと思っています。インターネットには、個人情報の関係で、子どもの表情のアップの写真を載せることができません。この掲示板なら、汐入小の関係者しか見ないので、良い表情の写真を載せることができると思い、始めました。保護者の方でうちの子どもは、いくら汐入小の玄関の掲示板でも表情がアップになった写真を載せられては困るという方は、ご連絡ください。配慮させていただきます。

う歯被患状況調査の結果

文字だけ見ると、「いったい何のことだろう」と疑問符がたくさん出そうです。8月の下旬、市教委から以下のような調査結果が送られてきました。

う歯被患率

横須賀市全体・・・14.26%

汐入小・・・8.99%

「う歯」というのは、むし歯のことです。「う歯被患率」というのは、むし歯になった子どもの割合のことです。むし歯になっているのに治していない子とむし歯を治した子の数を合わせたものです。

資料から、汐入小の子どもたちは、市内でもむし歯が少ない方だとわかります。これは、歯科衛生士さんの学校訪問や歯科の校医先生のお話をはじめ、お家での日々の取り組みの結果だと思えます。

歯科衛生士さんによる指導は、年に1回(1年生は2回)ですが、それを受けてその後の行動に結びつけるのは、お家のしつけによる部分が大きいと思います。「むし歯を0」というのは、なかなか難しいかもしれませんが、「むし歯を治していない子どもを0」というのは、大人の責任でできることです。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。